

参考) 主な測定項目の説明

○PH(水素イオン濃度)

水の酸性、中性、アルカリ性を示します。PH7付近を中性、これより小さい値を酸性、大きい値をアルカリ性といいます。

○COD(化学的酸素要求量)

水中の汚濁物質(主として有機物)などが過マンガン酸カリウムなどの酸化剤によって化学的に酸化されるときに消費される酸素の量をいいます。数値が高いほど水中の汚濁物質の量が多く、汚れが大きいことを示します。

○SS(浮遊物質)

水中に浮遊又は懸濁している直径2mm以下の粒子状物質のことで、粘土鉱物による微粒子、動植物プランクトンやその死骸、下水、工場排水などに由来する有機物や金属の沈殿物が含まれます。浮遊物質が多いと透明度などの外観が悪くなります。

○BOD(生物化学的酸素要求量)

水中の有機物による汚濁の程度を示すもので、水の中に含まれている有機物が一定時間(5日間)、一定温度(20℃)のもとで、微生物によって分解されるときに消費される酸素の量をいいます。数値が大きいほど有機物の量が多く、汚れが大きいことを示します。

○全窒素

有機および無機(アンモニア態・亜硝酸態・硝酸態)の窒素化合物の総量をいいます。窒素はリンとともに水系を富栄養化させ、赤潮の原因となります。